



「ソピア（知恵）の旗」だより

ソピアとはギリシア語で「知恵」という意味であり、本校の校歌の歌詞にある言葉です。



2021・1月 NO. 8

技術競技大会で大活躍！！

日ごろの成果を発揮！！

11月21日（土）に、伊野商業高校で開催された高知県高等学校技術競技大会（商業の部）に、本校から商業・情報コースの1・2年生8名が出場しました。

この大会の簿記の部は、商業高校・商業科による上級クラスと、商業コースを持つ中級クラスに分かれて技術が競われました。なお、情報処理部門はクラス分けはなく参加校すべてが競い合いました。本校は簿記部門で中級クラスに出場し、生徒たちは日ごろ鍛えてきた力を存分に発揮しました。

結果は簿記個人の部で、ハジツフ・璃生・トーマスさんが1位・濱口航一朗さんが2位を獲得しました。団体の部は簿記部門と情報処理部門に出場し、それぞれ3位となりましたが、商業高校時代からの伝統を受け継ぎ、果敢にチャレンジする生徒たちの姿を頼もしく感じました。

商業における学びを武器に、大学進学や企業就職につなげることもできることから、出場した生徒とたちにはさらなる技術向上を目指し、簿記や商業英語、情報処理などの上級の技術を獲得してもらいたいものです。



縦割りマッチで熱闘を展開！！

コロナに負けない！大高生の心意気

12月18日（金）に、西南大規模公園体育館において、大方高校の生徒による「縦割りマッチ」を行いました。例年は冬休み前に「ホームマッチ」を行うのですが、本年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、学年を超えた交流行事を実施することができなかつたため、生徒会の生徒たちの発案で「縦割りマッチ」をしよう！となりました。

リーダーは2年生で、各競技の出場選手決めや作戦指導等を担当しました。生徒たちは、王様ドッチ・バドミントン・スカッシュバレー・オセロ・ジェンガなどを楽しみました。全員がマスク着用で参加しましたが、試合前後の消毒や昼食時の距離等の感染防止対策もしっかり行っていました。



国土交通省に交渉！！

国道沿いの空き地にベンチを！！

12月15日（火）に、地域学を受講する2年生

7名が、国土交通省四国地方整備局中村河川国道事務所長人や黒潮町役場の職員さんを前に、国道沿いの空地へのベンチ設置の要望をするために、プレゼンテーションを行いました。

この企画は、町民の方々が日ごろ散歩をされている国道沿いの空地にベンチをつくることで、日々のウォーキングを避難訓練に重ねて実施してもらうことや、避難時の要支援者（自力で避難できない人）を増やさないことを目指しています。

生徒たちは紙芝居形式にしたプレゼンテーションを行いました。互いに発表の呼吸を合わせながらしっかりと伝えることができ、ベンチ設置の許可をいただくことができました。

今後はベンチを製作してくださる企業さんを探し、日常の避難訓練や体力向上につなげるためのPRも行うこととしています。「犠牲者0」の思想の実現のために、このベンチが役に立つことを願っています。



高知新聞社 2020「10大ニュース」

結果発表！女子サッカー部が第14位！！

高知新聞社が2020年に記事にしたニュースから、読者が関心の高かったニュースを選ぶ2020「10大ニュース」の結果が12月29日（火）の新聞紙上で発表されました。第1位は学校の臨時休校でしたが、本校に女子サッカー部ができ、セレッソ大阪スポーツクラブから派遣された監督が指導しているというニュース第14位が入りました。

①高知ユナイテッドJFLで雷闘(通年)
②元開陽豊ノ島が引退(4月)
③四国が都市対抗野球でベスト8(12月)
④大方高に女子サッカー部(5月)
⑤センバツと女子ゴルフ中止(3月)
⑥カツオ漁獲の低迷続く(通年)
⑦高知短大が67年の歴史に幕(2月)
⑧中村宿毛道路が着手44年で全通(7月)
⑨米軍機の県内飛来が倍増(通年)
⑩県内飲食9000店原則禁煙(4月)



年間何百というニュースが紹介されている中で、ベスト20に入ったことは、多くの方が大方高校の取組に注目してくださって

いたと考えられます。

幡多地域内外からサッカーをやりたい！！と希望する生徒も出てきています。令和3年度はさらなる飛躍を目指して、ガンバレ大方高校女子サッカー部！！

〇皆さん。ご覧ください！！

高知新聞社が作成した、幡多地域で活動している女子サッカーの活動の様子の動画がYou Tubeで紹介されています。

アドレスは以下のようになっていますが、「幡多蹴球女子」、または「幡多でも女子サッカーを」で検索すると出てきます。

URL:<https://www.youtube.com/watch?v=cOaL9Vd17y4>



〇3年生の投稿が、高知新聞の「声ひろば」で紹介されました。

3年生の4月に大方高校に転校した東（あずま）君が、大方高校に転校しての感想を書いています。

短い文章なので読んでみてください。

今思うこと 東 大悟 大方高3年

2021.1.5

高校生活が残りわずかになった今、私が思うことは、1年という時間が流れるのはとても早いということだ。

私は2020年度、高校3年生で大方高校に転入してきた。4月はコロナの影響で休校となったが、5月中旬には学校に行くことができるようになり、新しい学校生活がスタートした。

初めて学校に行った日はかなり緊張した。教室に入り席に着いてから周りを見ると、当たり前のことだが、知らない人ばかりで、何だか落ち着かない気持ちになった。

全てが初めてのことで、友達をつくることができるか不安もあった。本来なら、高校3年生というと最高学年であり、学校のほとんどのことを知っている立場にあるはずなのに…。私の立場はその逆である。とにかく不安だった。

しかし、クラスの皆はともやさしく、すぐに仲良くなることができた。自分が最初に感じていた不安など、すっかり忘れてしまうほど、あっという間に時間は過ぎていった。

あと数カ月の高校生活。まずは進路決定に向けて、がんばらなくてはいけない。後悔しないように、時間を大切にしたいと思う。